

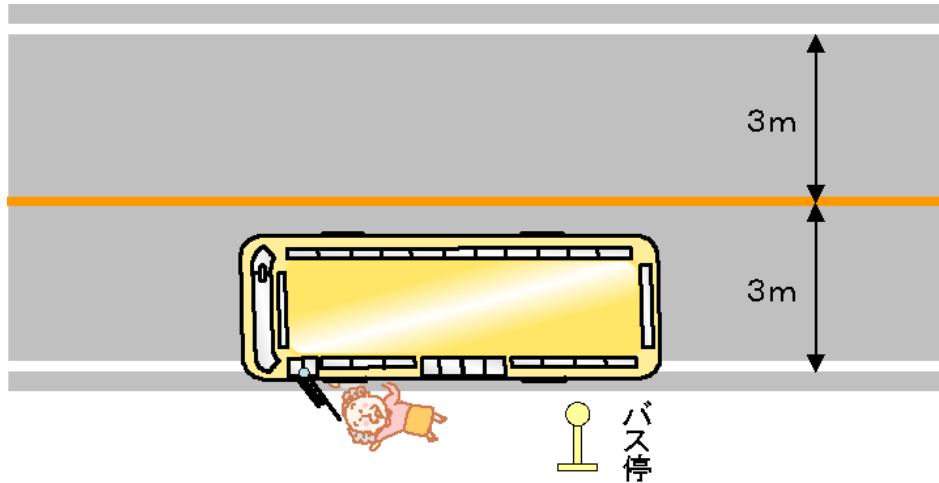
事故事例 14 (一般乗合)

降車した旅客の携行品が扉に挟まれて転倒したことに気付かず轢過

発生日時・天候	7月24日(日) 20時35分 晴れ
発生場所の状況	一般道 制限速度40km/h 乾燥 幅員(車道)6メートル
運転者	年齢:58歳 運転歴:33年
当該車両	種別:普通 形状:リヤエンジン 乗車定員:43人 当時:2人
損害	重傷1名

事故概要

当該運転者は、6時00分に運行管理者の点呼を受け、6時35分に出庫し、8回目となる市内循環バスを運行中、バス停において降車した旅客のキャリーバッグが前扉に挟まれたことに気付かず発車したため降車客は転倒したが、当該運転者はこれに気付かず約7m前進し旅客の左腕を轢過した。



推定原因

要因及び背景

再発防止対策

